

木造建築物に携わる建築士育成による普及啓発

- ▶ 本県では、今後重要となる非住宅分野等の木造化・木質化を進めるために不可欠な木造建築物の設計スキルを持った建築士が不足している。
- ▶ このため、木造設計に関する構造や防耐火等の識者による講習会等を開催することで、木造建築物の設計スキルを持った核となる建築士を育成し、県内の非住宅分野等における木造化・木質化の推進を図る。
- ▶ 令和4年度は、木造化の進んでいない中大規模建築物等を中心に、構造や防耐火等に関する知識のスキルアップや県産材の規格・性能や流通等の知識の習得に取り組んだ。

□ 事業内容

1 みやざき材を魅せる「空間・人」づくり事業（建築士育成事業）

- 木造建築の設計に必要な構造、防耐火、遮音等、その他分野の識者を講師にした「みやざき木造塾」を開催し、建築士の育成を図る。

【事業費】 3,197千円（うち譲与税1,599千円）

【実績】 第1回 11月28日 現場視察:新県体育館建設工事(木製トラス屋根)、
宮崎カントリークラブ(木製観戦スタンド)

参加者:19名

第2回 12月15日 講義:構造設計、木材調達・流通

参加者:18名

第3回 1月20日 講義:木造建築とまちづくり、材料(JAS材)

参加者:43名

第4回 2月18日 講義:森と建築について

参加者:33名

第5回 3月15日 講義:木造防耐火、木造設計の事例紹介

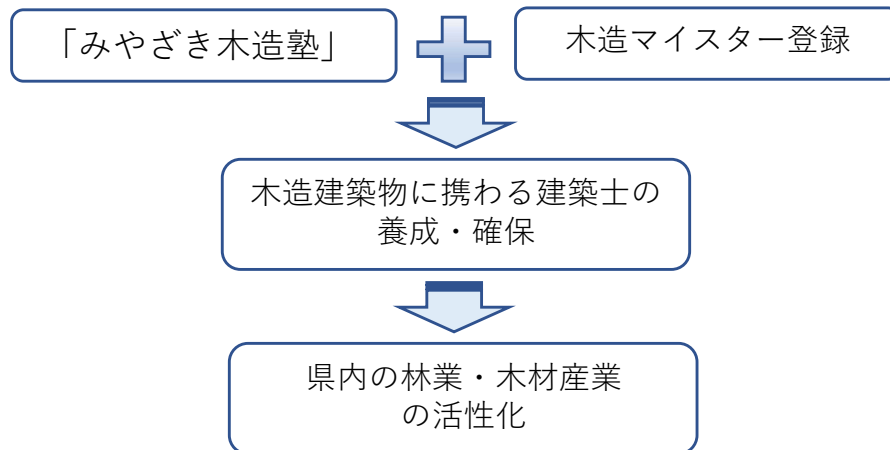
参加者:27名

※木造マイスター登録者: 27名(R5.3月末時点)



(みやざき木造塾2022の様子)

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- 「みやざき木造塾」の修了者で一定の要件を満たすものを「木造マイスター」として登録することで、木造建築物に携わる建築士等の養成及び確保を図る。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：184,332千円	②私有林人工林面積（※1）：176,375ha
③人口（※2）：1,069,576人	④林業就業者数（※2）：3,587人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より